

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第5回川島町子ども・子育て会議	
開 催 日 時	平成26年12月10日（水）午前10時～12時	
開 催 場 所	川島町保健センター2階 商工会会議室	
議 題	(1) 川島町（子ども・子育て支援事業）量の見込みについて (2) 川島町子ども・子育て支援事業計画について (3) その他	
公開・非公開の別	公 開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	1号委員：中谷茂一、高倉富美子 2号委員：牛村節子、加藤恭平 3号委員：荒井章代、渡辺英夫、中川まり子、鈴木義宏、谷嶋久美 4号委員：黒圖諭志 5号委員：石津瑞枝、新井久美子
	事務局職員	子育て支援課：井上和夫、松本竹司、矢島史康
配布資料	資料1 量の見込みに対する川島町子ども・子育て会議の考え方（案） 資料2 量の見込み及び確保方策等 資料3 川島町子ども・子育て支援事業計画（案）	
審議会等の内容・概要 <b>1. 開会</b> <b>2. あいさつ</b> <b>3. 議題</b> (1) 川島町(子ども・子育て支援事業)量の見込みについて ○事務局及び保健センター職員の中川委員より説明し、修正基準について、承認されました。 (資料1～2をご参照ください。)		

【中谷会長】量の見込の修正基準である現状値の2.5倍以上のものは、現実的な数値ではないという事で下方修正しました。2.5倍を超えたものは修正するという事で承認されたとします。ただし、今後の実績が高ければ数値を再調整してください。資料1のP6、地域子育て支援拠点事業は大切なので今後もニーズの高まりが考えられます。実際に事業を行ってからニーズを勘案して、事業を継続してください。続いてP9、養育支援事業の実績が7件で近年は下がってきています。これらの対象となる基準は年々変わっていくので、今後はニーズが高まる可能性もあります。現在はこれでいいですが、今後の様子を見て考える必要があると思います。そして、P10のショートステイについて、他市町村に確認するという事でしたが、その後はどうでしょうか。

【事務局】近隣市町村の施設の定員に空きがあるようなので、今後は委託を考えていきたいと思っています。

【中谷会長】現在は、空きがあるということですが、他に空きがなければ独自に考える必要もあると思います。最後にP14、病児保育は重要な施策であると思います。ショートステイと同じく近隣市内でやっていて利用できればいいのですが、今後、よく検討してもらいたいと思います。緊急サポートも受ける側の意識もあるので、よく検討してもらいたいと思います。また、ショートステイは「対応する」とあり、病児保育は「対応を検討する」とありますが、どう違うのですか。

【事務局】病児保育とショートステイについては同じ内容で他市町と委託を検討していきますという意味です。ただ、ショートステイはその市町村の児童のみで、病児保育は他市町からの受け入れ可能となっています。

【高倉委員】ショートステイは他市町にある施設に委託契約できないのでしょうか。このような事業は使い始めるとニーズも高まると思うので、平成31年まで待たないで早めに行動してほしいと思います。

【事務局】他市町の施設と契約したい場合はその市町を通すことになっています。そのため、その市町の担当と今後協議していきます。また、民間施設については直接契約を考えていきたいと思っています。

【高倉委員】町外にある施設と直接契約できないのか確認して下さい。

【事務局】調査します。

【中谷会長】この数値は今日で決定ですか。

【事務局】承認をいただきましたら、量の見込み及び確保方策を掲載し、事業計画素案について、パブリックコメントを実施します。

【中谷会長】すり合わせが大変だと思いますが、良く検討して掲載してください。

【渡辺委員】まず、病児保育の修正前の量の見込みが年間2,000人日以上ありますが、それが51人になった理由はどのようなことでしょうか。続いて資料1のP1の、平成27年は、まだ町立川島幼稚園があるのに280人にしていく理由はどのようなことでしょうか。そして、放課後児童クラブですが、平成27年の確保方策である261人は本当に確保できるのですか。

【事務局】1つ目のご質問については、事業の実績のある他市町村の人口の、何割が利用しているかを調べました。川島町については、過去の実績がなく、量の見込みの算出が困難であったため、人口推計の割合から算出しています。2つ目のご質問については、町立川島幼稚園は、今年度、園児募集を行っていませんでした。しかし、来年度は5歳児がまだいるので数値に反映することができるか確認したいと思います。3つ目のご質問については、平成27年度以降は、1つの放課後児童クラブでは、利用定員は40人以下であり、3施設で120人とするのが妥当ですが、量の見込みは登録児童数としました。登録児童数と利用児童数は違うのでこの数字とさせていただきます。しかし、実利用が可能な人数等も含めて、再調査いたします。

【中谷会長】数値等については、よく確認してください。

## (2) 川島町子ども・子育て支援事業計画(案)について

○事務局及び地域計画株式会社の福田氏より説明しました。(資料3をご参照ください。)

【高倉委員】総論の位置付けがわかりにくいので図等を入れてください。

【事務局】図化して入れます。

【高倉委員】18歳未満の監護児童の状況ですが、国と県の動向を入れるとさらにわかりやすくなるのではないのでしょうか。

【事務局】数値を調査し、掲載したいと思います。

【渡辺委員】5章と6章のすみわけはどのようなことでしょうか。一括にできないのですか。

【事務局】5章については、子ども子育て支援事業計画に係る部分で、6章は、次世代育成支援行動計画の部分になっているので、一括は難しいと思います。

【中谷会長】資料にページ番号が入っていないので、ページ番号を入れてください。

【事務局】了承しました。

(3) その他について

○以下の2点について、事務局より説明しました。

①川島町子ども・子育て支援事業計画（案）パブリックコメントの実施について

②町立川島幼稚園閉園後の施設活用について（ワークショップの開催等）

○会議録署名委員は、牛村委員及び荒井委員に決定しました。

以上

署 名	牛村 節子	
	荒井 章代	